

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【公表番号】特表2012-529689(P2012-529689A)

【公表日】平成24年11月22日(2012.11.22)

【年通号数】公開・登録公報2012-049

【出願番号】特願2012-514370(P2012-514370)

【国際特許分類】

G 06 T 1/00 (2006.01)

G 06 T 7/00 (2006.01)

G 07 D 7/12 (2006.01)

G 01 B 11/24 (2006.01)

【F I】

G 06 T 1/00 400C

G 06 T 7/00 300F

G 07 D 7/12

G 01 B 11/24 K

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象物のシグネチャを作り出すための方法であって、

A 1：上記対象物の表面の第1領域を走査すると共に、この第1領域内の表面構造の少なくとも一部を示す走査信号を受信するステップと、

A 2：ステップA 1において決定された上記走査信号からシグネチャを生成するステップと、

A 3：上記シグネチャを上記対象物と関連付けるステップと、

A 4：後の比較目的に使用可能にできる形態で、上記シグネチャを記憶するステップとを少なくとも備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

対象物の特定および／または認証をするための方法であって、

B 1：上記対象物の表面の第2領域を走査すると共に、この第2領域内の表面構造の少なくとも一部を示す走査信号を受信するステップと、

B 2：ステップB 1において決定された上記走査信号からシグネチャを生成するステップと、

B 3：ステップB 2において決定された上記シグネチャと、少なくとも1つの基準シグネチャとを比較するステップと、

B 4：ステップB 3における比較結果に応じて、上記対象物の上記特定および／または上記認証についてメッセージを作成するステップとを少なくとも備えることを特徴とする方法。

【請求項3】

表面を走査するためのセンサであって、

外部表面と、上記外部表面に対する法線を基準にして角度 で上記外部表面にまで延び

ている第1貫通部と、上記外部表面に対する法線を基準にして角度αで上記外部表面にまで伸びている第2貫通部とを有し、上記角度αおよび角度βの絶対値が等しいブロックと

、上記第1貫通部に配置され、上記外部表面の方向に走査ビームを送信可能な放射線源と

、線形ビームプロファイルを形成するための光学素子と、

上記第2貫通部に配置され、上記外部表面の方向に整置されている光検出器とを少なくとも備えることを特徴とするセンサ。